

事業概要シート

施策：若者や高齢者の就業支援

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 若年層就業支援事業	現状維持	予算額	511 千円
			《 1,486 》
財源内訳		国庫支出金	千円
		県支出金	千円
		地方債	千円
		その他	100 千円
		一般財源	411 千円

【事業の目的・概要・対象】

市内中小企業者が抱える課題の一つとして、人材不足がある。企業の人材不足解決のための人材育成・人材確保策として、産学官等が連携した支援を行い、経営の安定や地域経済の活性化を図る。

①市内高校進路担当者と市内事業者の意見交換会

高校の進路担当者及び市内中小企業者、行政等がキャリア教育等について意見交換会を行い、中小企業者の人材確保を図る。

②市内高等学校の生徒及び保護者への市内中小企業者の紹介

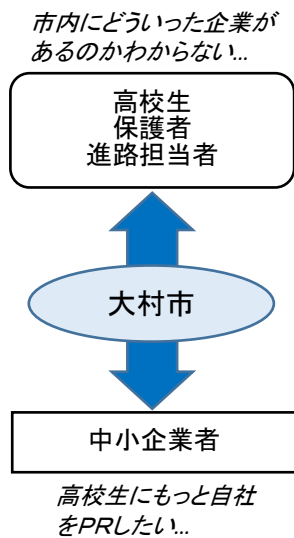
市内の高校2年生とその保護者を対象に、市内中小企業者やその事業内容などを紹介することで若年層の市内就職を促進し、若い労働力が溢れる地域社会の構築を図る。

- ・「大村市会社概要説明会」として会場に企業のブースを設置し、企業の概要説明を行う。

③初任者・異業種交流研修

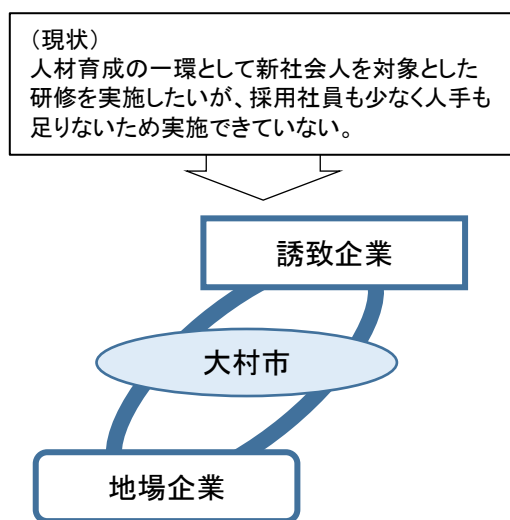
異なる業種の新社会人同士で研修を行うことで、それぞれの仕事に対する姿勢や価値観を学ぶとともに、就業意欲の向上を図る。

①及び②



進路担当者と中小企業者との意見交換会を行う。会社概要説明会を開催し、高校生及び保護者、進路担当者に市内企業のPRを行い、市内就職の促進を図る。

③



異業種における新社会人を対象とした研修を通して、社会人としての姿勢や仕事観などを養い人材を育成するだけでなく、誘致企業と地場企業をつなぐ役割もある。

【背景】

大村市が設置している「大村市中小企業振興会議」の意見に基づき、中小企業家同友会大村支部及び大村商工会議所各分会から中小企業者が抱える課題のヒアリングを行った際に挙げられた課題の一つである「人材不足」解決のため、事業実施に至った。

担当課	産業振興部 商工振興課	問合せ先	0957-53-4111 (内線249)
-----	-------------	------	----------------------

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	異業種交流研修の開催回数	目標値 回	—	2	2	2	2
②	会社概要説明会の開催回数	目標値 回	—	1	1	1	1

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	異業種交流研修の参加人数	目標値 人	—	50	30	30	30
②	会社概要説明会の参加人数	目標値 人	—	150	100	100	100

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費				1,486	511	511	2,508
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他				1,486	100	100	1,686
一般財源					411	411	822
人件費				2,480	2,480	2,480	7,440
職員				0.33人	0.33人	0.33人	0.99人
時間外勤務				40h	40h	40h	120h
嘱託員							0.00人
フルコスト	0	0	0	3,966	2,991	2,991	9,948

妥当性 (市の関与)	人材確保・育成及び定着について、個々の事業者では、時間や指導者及び費用が不足している。地域経済の活性化に向け市が支援を行うことは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	中小企業が求めている人材確保等について、民間や学校及び行政が連携して取り組むことは有効である。
効率性 (コスト)	初任者・異業種交流研修については参加事業者にてテキスト料を負担してもらっており、その他の取り組みについては最低限のコストで実施しているため、見直しの余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	担当者意見のとおり